

シリーズ キッズクイズ その7  
**がっばくんと**  
 学ぼう!



こんにちは！僕はがっばくんだよ!!  
 蛇口をひねれば当たり前のように出てくる“水”のこと、  
 みんなはどれくらい知っているかな？  
 今回も僕といっしょにクイズに挑戦してみよう!

Q1

浄水場では水槽で金魚などの魚を飼っているよ！どうしてかな？

- ① 魚を大きくするため      ② 魚の数を増やすため  
 ③ 川の水に有害なものが入っていないか、安全を確認するため

Q2

部屋の中に水を入れたコップを長い時間置いて  
 おくと水の量はどうなるかな？

- ① 減る      ② 増える      ③ 変わらない

Q3

令和3年11月1日は、いわきの水道ができてから  
 何年になるかな？

- ① 50年      ② 100年      ③ 150年

お問い合わせ 総務課 広報情報係 TEL 22-9314

わかったかな？  
 調べたり、おうちの人といっしょに  
 考えてみてね。  
 こたえは、裏表紙にあるよ。  
 詳しくは、ホームページをみてね。



**放射性物質の検査結果**

水質管理センターで  
**週3回モニタリング**※を実施

令和2年8月～10月の結果は  
**いずれも不検出**

水道局では、放射性物質のほかにも約200項目(水質基準項目51項目、独自検査項目約150項目など)の検査を実施しており、すべての項目で基準を満たし、安全であることを確認しています。

最新の検査結果など、詳しくは  
 水道局ホームページへ



※ 法田第一ポンプ場(法田第二ポンプ場と同じ敷地内)、旅人浄水場(水源が深井戸)、上遠野浄水場(泉浄水場と同じ水源)の3か所は、週1回の検査としています。

お問い合わせ 浄水課 水質管理センター TEL 22-2419

《令和2年8月1日～令和2年10月31日》 (単位：ベクレル/kg)

採水場所	検査頻度	放射性ヨウ素		
		ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
① 平浄水場	3回/週	不検出 (ND)	不検出 (ND)	不検出 (ND)
② 上野原浄水場				
③ 泉浄水場				
④ 山玉浄水場				
⑤ 法田第二ポンプ場				
⑥ 川前浄水場(川前簡易水道)				
⑦ 入遠野浄水場(遠野簡易水道)				
⑧ 鷹ノ巣浄水場( // )				
⑨ 法田第一ポンプ場	1回/週	不検出 (ND)	不検出 (ND)	不検出 (ND)
⑩ 旅人浄水場(田人簡易水道)				
⑪ 上遠野浄水場(遠野簡易水道)				

検査結果が検出下限値を下回った場合、「不検出(ND)」と表記しています。  
 なお、検出下限値は、測定機器や測定時間等によっても違ってきますが、現在の検査状況では1ベクレル/kgです。

**冬本番 感染症予防に水道水で手洗い・うがいをしましょう**

水道局では、国の法令に従い、適切に塩素消毒を実施し、国が定める水道水質基準に基づき、安全な水道水を供給しています。  
 水道水を介してウイルスに感染することはありません。  
 新型コロナウイルス感染症や冬に流行するインフルエンザやかぜなどの予防のため、身近な水道水で手洗い・うがいをこまめに行いましょう。



お問い合わせ 総務課 広報情報係 TEL 22-9314



新シリーズ その1 **平町の水道**  
 「いわき市の水道の歴史」

いわきの水道が、令和3年(2021年)11月1日に「水道通水 100周年」を迎えるため、今回からシリーズで「いわき市の水道の歴史」として掲載していきます。

第1回は、いわき市で初めて水道が引かれた「平町の水道」についてです。

古くから、平町の平坦部は地質が悪く、このため井戸水は鉄分が多い渋水に悩まされ、ほとんどが飲用に適さないものでした。そのため、10か所あまりの飲める水の井戸には朝早くから大勢の人が集まるなど、水汲みが1日の大切な日課となっていました。また、飲み水に困っている人達のために、桶に水を入れて売り歩く「水屋」さんもいました。それでも水に悩まされていた人々は、生活用水の不足を補うため、渋井戸の水や愛谷江筋の流水をこして、家事や洗濯、風呂水に使い、時には飲料水として利用したといひます。

明治時代になって商工業が盛んになるにつれて、人々は、井戸等に頼っていた生活から、水道を望むようになってきました。



配水管の布設風景

そのような中、明治39年(1906年)2月に平町に大火事があり、折からの強風と水不足のために人々はどうすることもできず、火は町全体に広がり、ほとんどの家が焼けてしまいました。この大火事で防火用水の不足を痛感した人々は、早急な水道の布設に取りかかったのです。

最初の計画は、火災直後に「平町水道設計大要」として策定されましたが、財政面や水源等の問題から、計画はなかなか進みませんでした。

その後、何回かの計画変更があり、大正6年(1917年)に水源を好間川とする計画で、ようやく工事が始まりました。

工事は4年をかけて行われ、大正10年(1921年)11月1日に人々が待ち望んだ水道水の給水が開始されました。

現在においても、この時に作られた上野原浄水場や八幡小路配水池などを、改良を重ねながら利用しています。



上野原浄水場(平町上水道創設当時)

お問い合わせ 総務課 広報情報係 TEL 22-9314